

# 多機能型プラットホーム・かもベ支援プログラム

法人理念

「認め合い、支え合い、繋がる」優しい共生社会を創る。

支援方針

重症児の笑顔とみらいを創る

- ・どんなに重い障害があっても、地域のなかで支え合える社会を目指す。
- ・たくさんの経験を積み、五感を刺激することや多様な人とかかわることで発達を支援する
- ・重症児が安心して過ごせるための居場所を創り、人財を育てる

営業時間

○児童発達支援

10:00~16:00

○放課後等デイサービス

13:00~17:00

学校休業日は10:00~16:00

送迎実施の  
有無

あり

作成日  
2025/3/10

## 健康

- 安全、健康に過ごせるように、必要に応じたケアを行いながら、体調管理に努めていきます。
- 様々な体の動きを取り入れながら、体を動かす楽しさや心地よさを感じられるようにします。
- 食事や排泄、午睡や遊びなど、生活リズムを整えながら、過ごしていけるようにします。

## 環境

- いろいろなものに興味や関心を持ち、五感を十分に使って楽しんでいけるような活動を取り入れていきます。
- 戸外の自然に触れ、その季節ならではの生き物や植物に親しみを持ち、季節の移り変わりを感じられるようにします。
- 身近なものに触れ、不思議に思ったり、考えたり、気づいたりできるような環境を整えていきます。

## 言葉

- 日常生活のなかで、身近な人とあいさつをはじめ、たくさんの言葉をかかわすことで、気持ちのつながりを感じていけるようにします。
- 自分の思いを声に出したときに、丁寧に受け止めていくことで、さらに自分の思いを伝えようとする意欲につながるように支援します。
- 絵本や手遊びなどに親しみを持ち、言葉のやりとりやリズムを楽しんでいけるようにします。

## 5 領域

### 人間関係

- みんなで一緒に過ごす場を作り、誰かがそばにいるな、みんな一緒に楽しいなと感じられるような雰囲気作りを大切にしていきます。
- スタッフが仲立ちとなり、友達とのかかわりを深めていけるように支援します。
- 身近な人と十分にかかわりを持つなかで、親しみを持ち、一緒に過ごす心地よさや安心感を得られるようにします。

### 表現

- 驚いた！楽しい！嬉しい！という経験を重ねていくことで、自然に思いを伝えたいという気持ちにつながっていくようにします。
- 表情やしぐさなど、自分なりの方法で、思いを表現した際には、十分に共感し、受け止めていくようにします。
- 自分で選択ができる場を整えます。
- 音やリズムに合わせて、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりする楽しさを感じられるようにします。

\* 重症児の特性を踏まえ、  
保育所保育指針の5領域  
を基本とする。

## 家族支援

- ご家族の思いに寄り添いながら、子育ての喜びが感じられるように、子育てを応援し、ともに喜びを分かち合います。
- 専門職（保育士・看護師・セラピスト等）による相談対応を行っていきます。

## 地域支援 ・地域連携

- 散歩や買い物といった外出や、イベントなどの行事を通して、地域の方々と交流を図ります。
- 保育園、学校、医療機関、訪問看護、訪問リハ等の関係機関と情報共有を行います。

## 移行支援

- 進級、入学、卒業のライフステージに応じて、情報提供を行い、切れ目のない支援を提供します。

## 職員の質 の向上

- 職種、経験年数等に応じた外部研修に参加し、研修内容を職員に伝達します。
- 月1回のミーティングで職員間の情報共有を図ります。
- 年1、2回法人全体での研修を実施します。

## 主な行事等

- 通年：季節ごとの活動（書き初め、節分、ひな祭り、こいのぼり、水遊び、お月見、ハロウィン、クリスマスなど）、外出、クッキング、誕生会
- 行事：家族交流会（きょうだい児の交流やパパ会なども併せて実施）